

卒業に向けて

4組 長坂 教生先生

卒業に向けて、たくさん「おめでとう」を言われるだろう。だから、ここでは別のことを書く。卒業にあたり、親に「有り難う」と「お願いします」を言おう。一番身近な人にこそきちんと言葉にして伝えよう。そして義務教育は終わるけれど、独り立ちするその日まで、もうちょっとだけスネをかじらせてもらうのだから。



中3の皆さんへ

5組 立川 亜美先生

入学時から一緒に過ごしてきて、皆さんそれぞれの成長を見ることができました。温かくて真っ直ぐなところがこの学年の一番の魅力だと思います。これからも、あらゆるところから学び、自らの見識を高めていきましょう。高校生活も実りあるものとなりますように！卒業おめでとうございます。



卒業に向けて

6組 関根 英樹先生

君らが関東学院に入学してから今日までの3年間を、幸いにも一緒に過ごすことができた。君らは随分成長した。背が伸びたことで、今まで手の届かなかったものに届き、目線も高くなった。同様に心も成長している。これから高校でさらに自身の成長を自覚するだろう。ただ、その前に一つ考えて欲しい。中学卒業までにやり残しはないだろうか。もう戻れないかけがえのない日々なのだから。卒業に向けてー



中3卒業に向けて

学年主任 曾我 正明先生

思い起こせば、先日、中学校に入学したと思ったらもう卒業ですね。可愛かったあの頃（今も可愛い）、5Fの教室・廊下等をいつも楽しそうによく笑い、走り回っていた姿を思い出します。これは元気の源。いつまでも明るく元気でいてください。中高時代は大人への架け橋です。楽しい学校生活を有意義に送る為にも自分の将来の夢を早く見つけましょう。また、別れはいつか必ずやってきます。そのとき後悔しないように、いつも他者を思いやって行動して欲しい。写真は中学1年生時の天城山荘での写真です。覚えていますか。



卒業に向けて

1組 三森 豪太先生

卒業というより、新たな気持ちでの出発おめでとう。高校生になったら勉強・部活・行事や生徒会活動とその中の一つでいいからあきらめずに一生懸命に取り組んでください。苦しくても、くらいついてやった経験はきっとこの先の大きな自信になります。



エスカレータで昇る君たちへ 2組 斉藤 成海先生

私にとってこの3年2組は初担任でしたので、皆の卒業は嬉しくも寂しくもあります。皆にとって中学卒業は衣替えの儀式でしかないと思いますが、同世代の子達は受験を乗り越え進学します。そんな気合の入った子達に負けないよう、中高一貫校の強みを生かし、新たな高校生活を有意義なものにしてほしい。卒業おめでとう。



卒業おめでとう

3組 町田 幸雄先生

「人生の節目」の一つである中学卒業。この節目で思い描くのは「筍とその生長」です。土から顔を出し、ぐんぐん伸びていきます。一見強そうではありません。でも「節」があることでどんなに強い風でもまず折れません。

皆さんも関東学院での「節」とは何かを考えつつ、さらに成長していった下さい。卒業おめでとう。

